

平成29年8月9日（水）、現地ほ場で質酒米生産をすすめるために、普及センターでは毎月1回、栽培者全員の「京の輝き」現地ほ場を個別巡回しています。今回は、普及センターから仕上げに向けて、栽培のポイントについて現地で説明をしました。出穂した酒米のほ場は、草刈りもきれいにされ、今年の作柄もまずまずと思われます。京北地域の酒米生産は4年目になります。今後の水管理やカメムシ防除のタイミングなどが熱心に質問がされ、品質向上の想いが感じられました。普及センターでは、仕上げに向けて巡回指導、技術情報の発行等を行って、酒米の収量・品質向上につなげていきます。



出穂した「京の輝き」ほ場



「京の米で京の酒を」